

目黒区の特別支援教育について

目黒区教育長
尾崎 富雄



社会福祉法人もえぎの会の皆さまにおかれましては、障害を持つ方々が、生まれ育った目黒の地で自立した生活を営むことができるように、これまで長年にわたり、地域での様々な活動や就労・生活への総合的な支援にご尽力されてまいりましたことに、心から敬意を表しますとともに、厚く御礼を申し上げます。

もえぎの会は、区立五本木小学校ゆりのき学級の保護者の皆さまのご活動から発足された、目黒もえぎ会を母体とされており、わたくしども教育委員会とも、御縁が深いと思っておりますのでございます。

さて、障害のあるお子さんへの教育を取り巻く状況でございます。平成19年4月から、特別支援教育が学校教育法に位置づけられたところであり、また、平成25年8月に学校教育法施行令の一部が改正され、障害のあるお子さんの就学先につきましては、お一人お一人の障害の状態、教育上必要な支援の内容、地域における教育の体制の整備状況などの事情を総合的に勘案して判断させていただくこととなりました。私どもは、この学校教育法施行令を踏まえ、お子さんの就学先の決定にあたりましては、保護者の皆さまへ、これまで以上に丁寧な説明に努め、ご理解をいただいております。

障害のあるお子さんへは、早期からお一人お一人に応じた必要な支援を行っていくことが、将来の自立や社会参加に大きな効果を得られるものと考えてございます。そのため、教育委員会といたしましては、これからも、もえぎの会の皆さまの取組と連携させていただきながら、特別支援教育のさらなる質の向上を図るために、必要な施策を講じてまいりたいと考えておりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

第13回しいの実祭のお知らせとお願い

今年は、11月22日(土)開催予定で、恒例の後援会のバザーも企画しています。献品に、ご協力をお願いいたします。

11月14日(金)までに、ご連絡をお願いします。ただし、下記のものはお預かりできませんのでご了承ください。

- ・ 賞味期限の切れた食品
- ・ 古本、日本人形の類、不揃いの食器、大量の古着



(献品の連絡先：しいの実社 ☎03-5724-7153 岡田)
沢山の方に参加して頂き、感謝の気持ちを表すような企画を進めています。来た方が笑顔になれる…心温まるお祭を目指します。
施設のスペースが限られて狭いので、お隣の白川電機製作所さん、平研磨工業所さん、五十嵐電機製作所さんの場所をお借りして、ますます盛り上げるように、みんなで張り切って準備しています。



もえぎの会事業報告会、後援会総会 開催

恒例のもえぎの会事業報告会、後援会総会を、7月26日(土)に目黒区合同庁舎大会議室において開催しました。例年より、少し遅い日程の開催となり、太陽が照りつける暑い日となりましたが、行政、議会、福祉団体などの関係者、後援会の皆様、ボランティア、利用者、ご家族、スタッフなど約150名の参加でした。

最初に後援会の総会を行い、昨年度の事業報告、決算に引き続き、役員の改選、事業計画、予算を承認していただきました。2年毎の役員改選では、全役員の留任が決まり、改めて沼野後援会長より、もえぎの会の活動への協力、地域での啓蒙活動などの決意を表していただきました。

引き続き、事業報告会を行い、理事長の挨拶、来賓を代表して鈴木隆道都議会議員に祝辞をいただきました。次に、パワーポイントにより、「もえぎの会 活動報告」を行いました。2014年度は、法人として「地域の連携」を年度のテーマにし、行政や他の事業所と連携して、障害を持つ人が、親なき後も安心して地域で生活できるように活動することを報告しました。その後、同日開催のリバーサイドフェスティバルから駆けつけていただいた青木英二目黒区長に祝辞をいただき、いその弘三区議会議長による区議会議員の紹介、乾杯のご発声で、懇親会が始まりました。料理は、しいの実社がランチでお世話になっている後援会会員の葉隠勇進に担当していただきました。来賓の方、後援会の会員、しいの実社のスタッフ、社員、また、ボランティアの方、スタッフなど、普段お目にかかれない方と、食事をとりながら、ゆっくり交流していただき、昔話をしたり、現在の様子や将来の話をしたりなど、「連携」というテーマを担える場のひとつとなりました。途中で、野村理事長のご指名により、お世話になっている方にお言葉をいただきました。



青木区長祝辞



音楽を楽しむ社員たち

後半は、音楽演奏の時間となり、楽器だけでなく、体を楽器のようにして音を出したり、しいの実社の社員も楽器を演奏したり、歌ったりして、楽しいひと時を過ごしました。最後は、新入スタッフの司会により、社員の感想や言葉とともに、手締めでお開きとなりました。



料理を楽しむ

秋のイベント販売スケジュール

10月25日(土)	えのき祭	大橋えのき園
10月25日(土)	地域福祉のつどい	中目黒GT広場
10月26日(日)	中目黒公園祭	中目黒公園
10月31日(金)	老人いこいの家	三田分室

*しいの実社では、5～6月、10～11月の販売の多い時期にボランティアを募集しています。ご興味がありましたら、お気軽にしいの実社ボランティア担当(鈴木美那)までご連絡ください。

しいの実社 宿泊研修旅行

9月4日から1泊2日で社員、スタッフ、ボランティアさんを合わせて、総勢78名で鬼怒川温泉に行ってきました。1日目は、宇都宮で有名な餃子を食べ、近くて、



ろまんちっく村

広大な「道の駅うつのみや ろまんちっく村」で買い物や散歩などを楽しみました。ホテル到着後は、温泉で汗を流し、お待ちかねの宴会となりました。日光名物の湯葉など、栃木の地元素材がたっぷりの料理をいただき、食後は、カラオケで盛り上がりしました。食事とカラオケは、みんな大好きで、満足な笑顔が溢れていました。



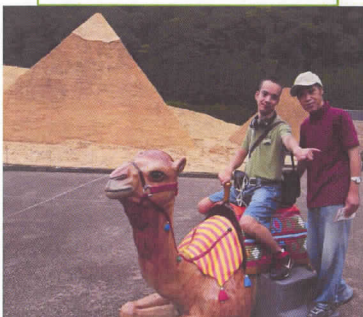
餃子村で満足ランチ

2日目はグループに分かれ、グループ毎に事前に計画を立てて、鬼怒楯岩大吊橋、七福邪鬼巡り、鬼怒川温泉ロープウェイなど鬼怒川周辺散策や東武ワールドスクエアを観光をしました。昨年は、一時、雨にたたられ、大変でしたが、今年は、みんなの行いがよいせいか、傘を使うこともありませんでした。

食事が楽しみな人、散策が楽しみな人、宴会が楽しみな人…行くまではちょっぴり不安な人など、色々な人がいますが、やはり皆さんは、「仕事」とはまた違う開放感のある表情で楽しまれていました。

後援会の皆さまのご好意により、楽しく、有意義な旅行を開催できましたことを社員、スタッフ一同感謝申し上げます。ありがとうございました。

東武ワールドスクエア



鬼怒川散策



全員集合!! 梓からはみ出さんばかりです。

ショップより

秋の素材を使った季節限定のパンやかわいい動物のパンが登場しています。中身は本格的で、お勧めですから、ぜひ、お試しください。

学芸大学店では、3年目となる恒例の学芸大学東口商店街「孺恋あい菜(さい)まつり」に参加し、期間限定「あいさいタルト」が8月26日から1週間店頭に並びました。

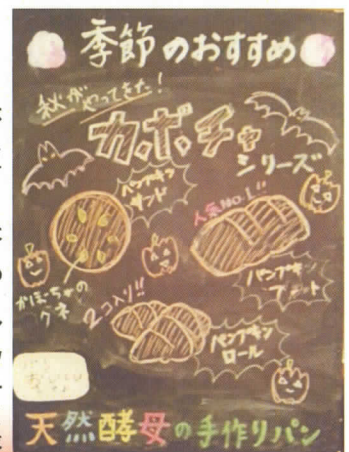
パン作りやショップの様子は、9月15日にケーブルテレビ「イツコム」で放送されましたが、地域のイベントやお客様の声を大切にして、これからさらに、美味しいパンやクッキー、手作りの製品を提供していけるよう社員・スタッフ一同張り切っています。



キャラメルあざらし ¥180



ちょこグマ ¥130

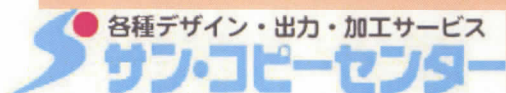


秋のおすすめは、かぼちゃのパン

後援会

会員インタビュー

サ 木



サン・コピーセンターは創立30年を迎えた総合コピーサービスの会社です。デザイナーを含め、10名の社員のみなさんと深澤哲夫社長をお訪ねしました。

会社のキャッチコピー「オリジナル商品の制作が得意なんです」が示すように、他ではやらないクオリティの高さにこだわり、「ここでなければできない！」をモットーにオリジナリティで勝負」とおっしゃいます。似顔絵入りの名刺、飲食店のメニュー、看板製作、リストバンドなど多岐にわたり、独自のアイデアで小回りのきくことが強味とお話し下さいました。そして学校や官公庁、地域のイベント等、地元



本社ビル

に大きく根を張った会社でもあります。仕事以外にも町内会など地域とのお付き合いは、大切な時間です。イベントにも必ず顔を出され「お互い様」が中小企業のいいところでしょうとおっしゃる笑顔が印象的でした。そろそろ後継者をと考えていらっしゃるようですが、バブル期から現在までを振り返り「企業は最後は人材ですね」とおっしゃいます。どんなに多くの人がいっても、十人十色で、適材適所が大切ですが、仕事ができても対人関係がうまくないと厳しいですねとおっしゃいます。すべての社会、仕事でも通じることと共感しました。

会社帰りには、ストレス解消のためスポーツジムに通うことを日課にしている深澤社長。鮎釣りを楽しまれる故郷、信州千曲川のせせらぎが聞こえてくる頃ではないでしょうか。「似ているかなあ…」と首を傾げられるウインドウの社長の似顔絵に見送られて会社を後にしました。

目黒区東山1-16-15
イーストヒル1F
TEL03-3760-1486
<http://www.sun-copy.com>



深澤哲夫社長

株式会社 神定工務店

江戸川区で創業し、先代のお父様が

目黒区碑文谷4-16-7-102
TEL03-3714-6318

社長に就任された時に、目黒に移られました。亀戸生まれ、小松川育ちの3代目、伊大知(いおち)直哉社長を、都立大学の会社にお訪ねしました。

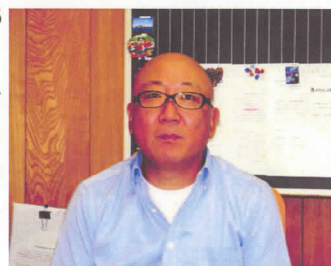
神定工務店は、首都圏を中心に関東一円で、建築工事の中でも型枠工事を専門に手掛けられる工務店です。型枠は鉄筋コンクリートの建物を建てる時、最も重要な役を果たします。建築現場で見ることがありますが、「沙羅の家 大岡山」の型枠工事もお仕事だったと聞いて初めて知り、改めて御礼を申し上げた次第です。

土台を作り、鉄筋を組みそれをパネルで囲み、そこにコンクリートを流し込み固めるという工程を繰り返す一連の作業です。型枠もさまざまな種類があり、建物の規模によっても作業期間は3か月から1年以上を要するものもあり、高い技術とプロ意識を求められます。「安全第一に、工期内に仕上げる」ことを一番にしていますと伊大知社長はおっしゃいます。しかし屋外の仕事で、今年のように天候の不安定な年は、熱中症などの体調管理も併せ、気の休まる時がないのでは？と思います。そんな時には全く違う分野の方々とのゴルフや話題の新刊の読書で気分転換だそうです。



沙羅の家 大岡山の工事

東京オリンピックを控え、今は非常に忙しく、人手も不足しています。神定さんでは現在120名の職人さんがいらっしゃいますが、この業界も高齢化が進み、若手の育成も難しいとお聞きします。日本の建築の安全神話を構成するお仕事の一つをしっかりと次世代に受け継がれることを願っています。



伊大知直哉社長

特定非営利活動法人 SUN



目黒区中央町2-32-5
スマイルプラザ中央町4F
TEL 03-3712-0653
<http://www.sun1991.net>

「特定非営利活動法人SUN」は、アルコール依存に苦しむ仲間が、回復して、社会に溶け込む事業を展開しています。スマイルプラザ中央町の事業所に管理者の土屋加代子さんをおたずねしました。

全国に先駆けて、昭和61年にアルコール依存症のグループワークがスタートしたそうです。平成3年にSUN共同作業所が東山にて設立され、その後中央町へ移転、平成17年11月にはNPO法人化し、地域との交流が広がりました。平成22年10月、就労移行支援事業、就労継続支援B型事業に移行、そして25年には自立訓練(生活訓練)事業を開始されました。現在は月曜から土曜までの開所で、25名の利用者と14名のスタッフで日々活動されています。プログラムは生活訓練「毎日作業所に来る」ことからスタートし、段階を踏んで作業に進みます。レクリエーションやミーティングに参加し、自主製作(廃油利用の石鹸、手すきは



管理者 土屋加代子さん

がき等)をします。そして、ポスティングや清掃、ランチの調理補助、中央中通り商店会にあるリサイクルショップSUNでの販売などに取り組んでいらっしゃいます。今ウェイトを置いているのが「家事代行サービス」。一人暮らしの方や高齢者が増える中、片づけや草むしりなど、家事のちょっとしたことをお手伝いします。地域に根差した活動を目指すSUNにとって、知っていただける有効な作業です。そして就労移行で、メール便の仕分けをしていますが、昨今企業側の求めるレベルが高くなって、一般就労が難しいということです。土屋さんはスマイルプラザに移転してきて、よかったなあと思われることが

いくつかあったそうですが、そのひとつが、いろいろな障害者施設が入っているおかげで、様々な障害を待つ人とふれあうことができるとのことだそうです。今まではほかの障害が、よくわからなくて、そのまま通り過ぎていたが、接してみて初めて分かり合え、親近感も湧きました。この気持ちを近隣にもどんどん広げて、いつの日か多くの地域のみなさんと交流ができればいいですねとお互いにエールの交換をしてきました。その時はぜひSUNのみなさんの手話ダンスをご披露いただけますよう！



見事な手話ダンス

新規後援会員をご紹介します

年会費 1口1,000円 個人会員 1口以上、 法人会員 10口以上

会費はお手数ですが、直接お持ち頂くか、下記口座へお振込みください。

郵便振込口座 00130-5-667751

口座名義 もえぎの会後援会

問い合わせ先 もえぎの会後援会事務局(電話:03-5724-7153)

祝日のお出掛けイベント

世話人 長谷茂雄

4月に3ホーム合同の外出イベントを行いました。東京ドームホテルのランチバイキングで、新しいスタッフにとっては利用者のバイキングでの食べっぷりは、普段グループホームで見る食事の風景とは違って新鮮だったようです。

9月は各グループホームで、それぞれの特色を生かしたイベントでした。南は、調理実習を企画して、「焼きそば・サラダ」の昼食作りをしました。調理する人、買い物する人など分担して美味しい昼食作りに励みました。

向原は、自由が丘にある日本で最初にモンブランを提供したお店「Mont Blanc」でティータイムを優雅に楽しむことができました。

大岡山は、少人数ということで、江の島まで遠出をしました。江の島は6年前に沙羅の家の外出イベントで行き、その時は暴風で楽しむ余裕もなかった苦い思い出の地ですが、今回は絶好のお出掛け日和で気持ちよく帰ってきました。

利用者の生活が落ち着いてくると、いつもと変わらない日々が淡々と過ぎてしまいがちなグループホームですが、祝日などを利用してイベントを行うことで普段とは違った表情を見ることができ、とても

貴重な時間です。今年度は、あと3回、みんなで楽しめるイベントを企画・実施を予定しています。



東京ドーム・バイキング



南：協力して配膳完了



向原：自由が丘モンブラン



大岡山：秋晴れの江の島

碑文谷八幡宮例大祭

南一丁目町会、向原西町会、清水町会

南一丁目
町会神輿



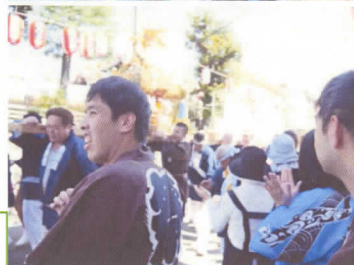
清水町会 今井会長、
林副会長と一緒に

恒例の碑文谷例大祭の町内神輿に、参加しました。9月13日は、しいの実社の地元である清水町会に、ご挨拶に伺い、夜は、南一丁目の御神輿を利用者とスタッフが一緒にかつぎました。

14日は、向原西町会の神輿に参加し、晴天に恵まれ、暑過ぎずちょうど良い気候の中その迫力に圧倒されながらも、見慣れた町のいつもとは違った雰囲気を感じ、楽しむことができました。

地域の方からの声かけも増えており、少しずつ地域に溶け込んでいるという実感をしました。

向原西町会



編集後記

今年も無事に充実した宿泊研修旅行を終えることができました。普段の活動や生活も、地域の皆様や多くの人に支えられていることを改めて感じる半年でした。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。(岡田)

発行：社会福祉法人もえぎの会

住所：目黒区目黒本町2-7-3

(法人本部) 電話：03-5724-7153

e-mail：shiinomisha@abeam.ocn.ne.jp

http://www.moeginokai.jp/

